

令和元年8月29日 市長定例記者会見の要旨

■議題

1. 9月定例市議会について

〔市長〕(1) 議案 (2) 補正予算案 資料に基づき、概要説明

〔記者〕補正予算に計上している事業のうち、「災害に伴う事業」とは全て7月の大雨のみか。

〔市長〕8月27・28日の災害については、早く予算をつけないといけないが、現在調査中であるため、今回の補正予算は7月の大雨のみである。

〔國武総合政策部長〕8月の災害の分は、議会の最終日に追加であげることも検討し、現在、情報収集中である。

〔市長〕昨年の災害では、国県市合わせて概ね8割程度の補償をしているが、今回も県と市で同じような補償ができればと考えている。7月の災害だけではなく、昨日の災害もしっかり支援していきたいと考えている。昨日、森副市長とともに、北野や宮ノ陣地区などの被災地を見てきた。7月に被災し新たに種をまいた農作物が、昨日の大雨で更に被災するような状況も起きている。一番懸念しているのは、昨年も7月も2年続けて被災し、今回も被災したとなると、生産者が熱意を無くすことである。精神的な支援を含めできることはしっかりやっていきたい。

〔記者〕どういった品種が被害にあっているか。

〔市長〕主には葉物野菜である。長門石では菊が被害を受けている。年末に向けて出荷しないといけないものもあり、遅れないようにしっかり支援を行っていく。

〔記者〕補正予算に計上している事業のうち、「事業進捗に伴うもの」の中には、城島町浮島地区の排水機場の整備の伴う負担金は、増設や新設か。

〔市長〕すでにある排水機場の修理などであり、新設ではない。

〔記者〕8月の災害被害の補正予算を計上する場合は、今回の議案は一旦取り下げるのか。やり方はどうなるのか。

〔國武総合政策部長〕やり方としては、追加で補正予算を計上することになる。

2. 7月大雨災害による農業被害と支援策について

〔市長〕資料に基づき、概要説明

〔記者〕8月の大雨被害については、9月議会の開会中に対応できれば追加で補正予算をあげ、もし間にあわない場合は、本予算の予備費やその後の議会での補正予算でカバーする認識でいいか。

〔市長〕その認識でいい。

【記者】災害が続き、生産者が離農するのではないかという危機感を持っていると説明があったが、具体的にはどんな思いで政策を進めていくのか。

【市長】農業者をしっかりとつなぎ止めることは、県や市ともに大きな政策であり、予算措置を始め、若手や女性の農業者への支援をしっかりと行っていきたい。新たな農業就業者を引き込んでいく政策をやっていく中で、市内でも施設園芸が元気になっている。そんな人たちが、何度も被災したら離農したくもなる。早めに予算を付け、農業者が収入を得ることが必要である。早く新たな種をまき、出荷したいときに原資が必要である。設備の修繕費などに補助金、無利子融資などで支援することで、続けていける農業を応援していきたい。

【記者】昨年も農業支援を行っていたが、今回の支援メニューは拡充しているのか。

【市長】支援内容は昨年と同じである。昨年から始めてであり2年続けて補正予算である。スピード感をもってやっている。

【記者】このスピード感も始めてか。

【市長】農業者が不安を持って、先が見えない状況より、久留米市にとって農業は主要産業あるという前向きを醸成することが重要である。

【記者】通常なら12月議会で補正するものを、あえて前倒しして追加議案として出すスピード感を重要視しているか。

【市長】12月に予算化し、その後に種をまいて3月頃に出荷するより、9月に補正しその後種をまいて12月に出荷するのでは収入が全く違う。同じ補正予算額でも時期によって、その後が全く変わっていく。

【記者】昨日の現地視察で、農家からどのような要望があったか。

【市長】昨日の視察では、まだ雨降っている最中であり農家の方とは直接話しをしていないが、その後、いち早く支援をお願いしたいとの声を聞いた。

3. 市政の動き

(1) 久留米初演 100 周年記念演奏会ベートーヴェン第九について

【市長】資料に基づき、概要説明

【記者】第九開催後、その後の展開は。

【市長】久留米市の歴史・産業的な背景も踏まえ、捕虜収容所の観光名所や音楽イベントにつなげていきたい。今年、子孫の方たちが久留米市に来ており、ぜひ交流も継続していきたい。

【記者】ドイツとの交流はどう考えているか。

【市長】自治体の間の交流は難しいと思う。友好都市などには相当の時間と費用もかかると考えている。

【記者】徳島県鳴門市ではユネスコへの世界遺産に申請をしているようだが、鳴門市から久留米市への話しはなかったのか。

〔市長〕 伝え聞いた話したが、鳴門市は独自でやりたいという意向であった。

〔記者〕 かつて収容所があった場所は、久留米大学医療センターになっているが、現状何もない。何かを建てるような考えは。

〔市長〕 記念碑やツアーなども考え、自衛隊などとあわせて久留米市のウエストポイントとして、しっかりやっていきたい。

(2) TICAD7（アフリカ開発会議）における久留米市緋のPR

〔市長〕 資料に基づき、概要説明

〔記者〕 バックは販売しているのか。

〔森副市長〕 地場産久留米のネットで販売している。

〔記者〕 配布したのは、各国の首脳だけか。参加者などにはどうか。

〔広報戦略課〕 参加国の首脳54人だけである。

4. その他

質疑なし